

観点別評価

① 消費税の概要としくみ、国税の消費税と地方消費税の割合について理解する。

【知識・理解】（行動観察、ノート）

(A) 十分満足できる	(B) おおむね満足できる	(C) 努力を要する
<p>・消費税は、ものの販売やサービスに課せられる税金であり、小売業者が製造業者から仕入れた商品を、消費者に販売するまでの課税のしくみが十分に理解され、国税と地方税の現在の割合と将来の割合を十分に理解している。</p>	<p>・消費税は、ものの販売やサービスに課せられる税金であり、小売業者が製造業者から仕入れた商品を、消費者に販売するまでの課税のしくみがある程度理解され、国税と地方税の現在の割合を理解している。</p>	<p>・消費税は、ものの販売やサービスに課せられる税金であり、小売業者が製造業者から仕入れた商品を、消費者に販売するまでの課税のしくみを理解するのに支援を要し、国税と地方税の割合を理解するのに支援を要する。</p>

② 消費税をはじめとする税金の用途について関心を持ち、生活に結び付けて考察することができる。

【思考・判断・表現】（対話、発言、ワークシート）

(A) 十分満足できる	(B) おおむね満足できる	(C) 努力を要する
<p>・税金の用途について関心を持ち問題を解き、発言する中で、自分たちの生活の中に税金が関わっていることに気づき、税の大切さを十分に認識し、言葉にすることができる。</p>	<p>・税金の用途について関心を持ち問題を解き、発言する中で、自分たちの生活の中に税金が関わっていることに気づき、税の大切さを認識できる。</p>	<p>・税金の用途について関心を持たず、問題を解くのに支援を要し、発言するところまでいかない。</p>